

2023年8月3日

## 介護保険制度改善と介護従事者の処遇改善を求める キックオフ集会への参加と拡散のお願い

中央社会保障推進協議会  
事務局長 林 信梧

日々の社会保障を守り推進する活動に敬意を表します。

政府が当初提案したケアプランの有料化、要介護1、2のサービスの総合事業への移行などの抜本改悪案は、反対世論の広がりの中で先送りさせることができました。しかし政府は、利用料2割負担の対象拡大、一定の所得以上の高齢者への保険料引き上げについて引き続き検討し、2023年末までに結論を出すとしています。利用者・事業者双方に新たな負担を押しつけるものであり、断じて認めることはできません。

介護従事者の処遇改善は待ったなしの課題です。昨年からの新たな処遇改善が開始されていますが、全産業平均給与との差を埋めるには程遠い水準です。

行き届いた介護を実現するためには、社会保障費を大幅に増やし、介護保険制度の抜本改善、介護従事者の大幅な処遇改善と増員を図ることが何よりも必要です。制度の改悪をやめ、憲法25条に基づく「介護の社会化」実現に向けて新たに署名を提起するキックオフ集会を開催します。

### 記

- 名称：介護保険制度改善と介護従事者の処遇改善を求めるキックオフ集会
- 日時：9月1日（金）18：00～19：00
- 会場：全労連会館3階会議室（配信用）・ZOOM を利用しての配信  
集会の様子は録画し、中央社保協のホームページで見れるようにいたします。

<https://shahokyo.jp/20230901/>

※ 当日参加できない際も視聴いただければと思います。

- 参加登録・参加費 なし

17：30 ZOOM 接続開始

18：00 開会・講演

「介護保険制度改善と介護従事者の処遇改善を求める  
請願署名について」（仮題）

林 泰則 氏 全日本民医連事務局次長（40分）

18：40 賛同メッセージなど

19：00 終了

※ 署名はホームページへ掲載いたします。

以上